

<認知症対応型共同生活介護用>
<小規模多機能型居宅介護用>

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

I. 理念に基づく運営	8
1. 理念の共有	1
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	2
5. 人材の育成と支援	0
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	1
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	0
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	5
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	1
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	0
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	3
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	6
1. その人らしい暮らしの支援	4
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	20

事業所番号	1471001022
法人名	有限会社 梨の実
事業所名	梨雲ハウス平戸
訪問調査日	2015年2月25日
評価確定日	2015年3月31日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION

○項目番号について

外部評価は20項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[次ステップに向けて期待したい内容]

次ステップに向けて期待したい内容について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

平成 26 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1471001022	事業の開始年月日	平成16年1月15日	
		指定年月日	平成16年1月1日	
法人名	有限会社 梨の実			
事業所名	梨雲ハウス平戸			
所在地	(244-0803)			
	神奈川県横浜市戸塚区平戸町1156-1			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18名	
		ユニット数	2 ユニット	
自己評価作成日	平成27年2月10日	評価結果 市町村受理日	平成27年6月17日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・畑に作物を耕作しています。利用者・ご家族・地域の方々・職員の交流の場として、また、四季折々の食材を楽しむ機会を大切に考えています。

・さまざまなボランティア（美容師・日本舞踊・お茶の先生・ハンドマッサージ・クラフト等々）の方々に関わっていただいています。認知症の方々との交流、認識を深める時間を作っています。

・職員にとって「家庭」と「仕事」を両立できる職場を目指しています。

・勤続年数が高い職員、復帰される職員、さまざまな勤務形態等々の職員が48名おります。それぞれが利用者の方々、ご家族の方々、地域の方々との関係になれるよう努めています。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-8 SYビル2F		
訪問調査日	平成27年2月25日	評価機関 評価決定日	平成27年3月31日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

①このホームは、有限会社梨の実の経営で、オーナーはこの地の出身であり、かつて先代はこの地で浜梨で知られる梨畑を経営していましたが、地域の方の「グループホームを建てたい」という言葉がきっかけに、開設された経緯があります。立地はJR東戸塚からバスで5分程、国道1号線沿いのバス停から徒歩3分の便利な場所に位置し、隣には竹林、少し坂を上がると富士山が望める自然豊かなところです。庭では野菜や果樹が育てられ、食卓に上り、入居者に季節を感じてもらっています。ホームのケアは「自分らしく生きるための環境と家庭的な雰囲気の中でゆとりと生きがいの提供を心がけたい」という理念を全職員で共有し、個別対応を心がけたケアにあたっています。特に利用者については、「その人に対して何をしたいか」を知ることは難しく、チームワークで利用者の希望の把握と実現に取り組んでいます。ホーム設立から11年、係わった職員の多くが残っており、チームワークの良さが感じられます。小さい子供のいる方でも働きたいとの思いを受け入れ、2時間勤務の方もいますが、強い責任感を持ってケアに臨んでもらっています。職員全体の気持ちは、利用者に教えられることの方が多く、利用者の「笑顔」と「ありがとう」の言葉に生き甲斐を受け取っており、此処の18名を大切にしていきたいと考えています。

②地域への発信に心がけ、元々は内部研修の機関であった「梨の実塾」をご家族→ひよどりの会（退職した職員の会）→退去されたご家族→地域に広げ、テーマに応じて呼びかけを行い、皆で心のケアを考える活動を展開しており好評です。職員のレベルアップに、この梨の実塾の果たす役割は大きく、内部の勉強会の充実と併せて教育の柱となっています。外部の研修では神奈川県、横浜市、戸塚区、ケアプラザなどの研修も活用し、研鑽を図っています。障がい児の施設である、東戸塚の地域活動ホーム「ひかり」の交流室で「精神障がい者とのかわり」などの勉強会も開催しています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	梨雲ハウス平戸
ユニット名	豊 水

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

1.47E+09

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<ul style="list-style-type: none"> ・事務所やヘルパールームの見えるところに「理念」を掲示し、皆で共有、実践するよう努めています。 ・新しいスタッフは入職時に研修があり、その中で説明しています。 	開所当時からの理念を現在も生かし、ヘルパールーム、事務所など目につく所に掲示し、全職員で共有し、ケアにあたっています。新職員には、採用時の面接で理念の説明をしています。利用者が今まで過ごしてきた生活を大切に、ホームでの豊かな共同生活を過ごせるような支援に努めています。このホームの特徴の1つに、梨の実塾及び内部の勉強会により、職員にその真髄を周知しています。	今後の継続
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のボランティアに支えていただき、梨狩り、さんまの会、夏祭り、バザーなど行われています。 ・畑の作物も指導していただき、毎年たくさんの野菜や果物を育て楽しんでいます。 ・自治会に加入し、夏祭り、防災訓練に参加しています。 	町内会には回覧板・ポスターの掲示、家族には年間予定表で行事をお知らせし、ボランティアの方々を支えられて毎年、梨狩り・秋刀魚の会・夏祭り・バザーなどを開催し、地域の方にも楽しんで頂いています。自治会の防災訓練にも参加し、地元中学校の職業体験学習の受け入れ先にもなっています。なかよし幼稚園の子どもたちがクリスマス会に来てくれて楽しませてくれています。お正月には、近くの国道1号線に出て箱根駅伝の応援をしています。	今後の継続
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の中学校（平戸・芹が谷）から「体験学習」の受け入れをしています。その際、「認知症サポーター養成講座」をひらき理解を深めていただいています。 ・地域のボランティアの訪問時、ホーム内での生活の様子を見ていただき、認知症の理解をしていただいています。 		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・年6回の運営推進会議を開催し、ホームでの生活の様子を報告し、皆様からのご意見、ご希望など伺い話し合いの場になっています。毎回多くのご家族の出席があり、情報交換の場になっています。 	年6回の運営推進会議を開催し、ホームでの生活の様子を報告し、皆様からのご意見、ご希望など伺い話し合いを行っています。委員の方には行事などにも積極的にお手伝い頂き、防災訓練にも意見を頂いています。メンバーは町内会長・民生委員・地域包括支援センター主任マネージャー・ご家族・職員でご家族には全員にご案内し、講演会を併設するなど工夫し、毎回12～13名の方の出席があります。一緒に食事をすることもあり、「流水カレー」（海藻を使ったブルーのカレー）など好評でした。	今後の継続
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村の連絡会には出席し、行政への当ホームとしての取り組みなどの情報公開に努めています。 ・包括支援センターでの集まりにも参加し、サービスの情報交換に努めています。 	横浜市、戸塚区、グループホーム連絡会の講習、研修会に出席しています。戸塚区には事業所の状況・報告と諸相談を行い、生活保護受給者の相談でも区の窓口・生活保護課と連絡交流があります。ケアプラザに地域のケアマネが集まる「ケアマネサロン」があり、研修・勉強会・在宅医師の情報交換などを行っていますが、このところお誘いが少ない状況です。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・事故防止を理由に身体拘束はしていません。危険防止のため止むを得ず、出入り口は施錠しています。職員は常時、鍵を携帯し不自由な思いをさせないよう、外出の機会を多く作っています。	「基本的に身体拘束をしないケアを心がける」ということを、会議の中の勉強会、毎朝の申し送り時に話し合い、身体拘束はしていません。現状、やむを得ず玄関施錠をし、職員が常に鍵を携帯し不自由な思いをしないように心がけています。利用者には「外に出る為の鍵」と説明しており、不自由な思いをさせないよう、外出の機会を多く作っています。ご家族にも同意を得て、「大切にしてもらっている」という言葉を得て、常に考え改善を心がけています。	今後の継続
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・入浴時等、身体に変化（痣・傷）があるか観察しています。言葉の暴力に対してもフロア会議等で話し合っています。対応の難しい利用者に対しては一人で抱え込まないように話し合っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	・成年後見人制度を実際に活用されている利用者がいます。後見人と接することで資産管理、入院手続きなど学ばせていただいています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・契約時に重要事項説明書、利用契約書を説明しています。 ・当ホームで出来ること、出来ないことを分かりやすく説明しています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・契約時に外部・内部の苦情窓口を説明し、連絡先を玄関の見やすいところに掲げています。 ・ご家族の面会時やケアプランの打ち合わせの時など、要望や困っていることなどをお聞きしています。また、運営推進会議等ご家族間で話し合う機会を設けています。	利用者の意見については、日常の見守り時に気付きや、本人から直接意向を聞くようにしています。ご家族等の意見は来訪時、電話等での意見を考慮するようにしています。運営推進会議についてはご家族全員に声をかけ、出席できる人は出て頂いており、常時、平均12～13人が参加されるので、運営推進会議での意見も参考としています。ケアプランの打合せ時にも意見・要望を聞き計画及び運営に反映させています。毎月1回のお便りで、ホームの1か月の行事や様子、ご本人の様子を写真入りで載せ、ご家族に近況報告しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・毎日の申し送り、朝礼、各フロア会議等で職員の意見や要望、提案をだしていただく機会を設けています。	申し送り・朝礼・会議・起案書等で職員の意見、要望、提案を聞く機会を設けています。常勤職員は5名ですが、子どもや家庭の都合で短時間勤務の非常勤職員が多いのですが、開設以来の古い職員が殆どで、帰属性が高く、お便りの記入等にも関わってもらえる信頼の置ける非常勤職員であり、研修や勉強会の“梨の実塾”にも参加し、技術や意識の向上に取り組んでいます。	今後の継続
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	・個々の職員の生活スタイルを考慮し（時間帯・日数）皆が安心して携われるよう職場の環境整備に努めています。 ・各自、やりがいや向上心を持って働けるよう話し合う時間を作っています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・定期的に「梨の実塾」をひらき、職員の介護技術、知識の向上に努めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	・近隣の他事業所の行事に参加し、代表者、管理者、ケアマネジャー、職員との交流を通して、サービスについての意識の向上に努めています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	・入居前に今までの生活様式や環境、要望等を把握するよう努めています。 ・新しい環境に慣れていただけるよう、ホームでの生活の様子を丁寧にお話しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	・入居前の話し合いの時に、ご家族の不安、悩み、希望などを伺う時間を設けています。 ・ご家族が気軽に思いを話していただけるような雰囲気作りを心がけ、良い関係づくりに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・入居して一ヶ月過ぎ頃、ホームでの生活の様子を話し合います。新たな課題を見つけながら、どのようなサービスができるのか、望まれているのか話し合って対応に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・利用者が出来ることをしていただいています。(テーブル拭き、お盆拭き、配膳下膳、洗濯干し、たたみ等) ・得意なことをしていただいています。(マッサージ、メイク等)		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・ご家族の都合の良い時間に面会していただいています。自宅への外泊、外出、食事、旅行など楽しまれています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・ご家族、親戚、知人との面会や外出は自由にしていただいています。お墓参りも計画し行いました。	家族・親戚・知人等の面会や外出は自由にして頂いています。希望により、職員が同行して墓参りに行くなど支援しています。アセスメント時にはその方の生活環境や人となり聞いています。こちらに入所したことで、今までの確執が改善したケースもあります。ホームでご家族と自由に会えるように、また、ご家族自身の心のわだかまり感が改善出来るように、利用者やご家族の心に寄り添った支援を心がけています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	・アクティビティを行う時は一人ひとりに声かけをして、皆さんに参加していただけるよう心がけています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・退居された方（ご家族等）、退職された方が希望により入会できる「ひよどりの会」があります。行事にボランティアとして参加していただいています。定期的に情報誌を送りコミュニケーションを図っています。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	・随時、利用者との話し合いの中から希望、意向を確認しています。また、ケアプラン時にもご家族からお話を伺っています。	「本人の思いを汲んで今出来ることを今やろう」を共通の思いにして、希望や意向の把握に取り組んでいます。雑談の中での何気ない一言を書き留めておくようにしています。利用者がご家族と一緒に旅行したいという思いに対して、楽しかった後の混乱を心配するご家族に対しては、「ホームでの後のことは任せて下さい」と伝え、利用者のご家族の実現を支援しています。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・入居前にご家族からのアセスメントにより、これまでの生活環境、仕事、趣味、家族関係などの情報を共有してグループホームでの生活に取り入れるよう努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・日々の申し送り、フロア会議でそれぞれの心身の状態、食事、睡眠、排泄などのリズム等の情報交換及び共有に努めています。 ・一人ひとりの個性を大切に、好きなことなどを把握しメリハリある生活が送れるよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<ul style="list-style-type: none"> 日々の申し送り、フロア会議で変化に伴うケアのアイデアを出し合っています。 ご家族とのケアプランの打ち合わせにて希望を伺い介護計画に活かしています。 	<p>入居時に、先ずアセスメント表を書いて頂いた上で、ご自宅に伺い、本人・家族と話し合い、質問や生活を見せて頂いた上で暫定の介護計画を策定しています。また、見守りの上、本プランを策定し、家族も交えて中間で評価し、個人担当に意見を聞き、カンファレンスで検討の上、次回の介護計画を策定しています。日々の申し送りやフロア会議で、モニタリングでの変化に伴うケアのアイデアを出し合っています。ご家族とのケアプランの打ち合わせにて希望を伺い、介護計画に活かしています。</p>	今後の継続
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<ul style="list-style-type: none"> 「夜勤用情報交換ノート」、体調の変化があった際の「体調管理ノート」に記入しています。また、パソコンの「連絡事項」及び「ケース」の項目に情報を入力し、情報を共有し、介護の実践に活かしています。 		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ご家族のお墓参りを希望されていた利用者と一緒に職員介助で行いました。 訪問リハビリを希望される方には理学療法士の紹介など柔軟に対応しています。 		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> 定期的にボランティアの方々に訪問していただき楽しんでいます。（訪問カット、ハンドマッサージ、クラフト、お茶会） 近くの施設の行事に参加したりして交流の場を広げています。 		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ご家族の希望する病院をかかりつけ医とし、良好な関係性の構築に努めています。 状況に応じて職員も同行し状態を報告・相談をしています。 	<p>ご家族の希望する入居前からの主治医をかかりつけ医とし、良好な関係性の構築に努めています。ホーム提携の往診医もあり、往診を行っていない主治医の場合、かつ、ご家族による通院が難しい場合にはホームの往診医に変更するケースもあります。利用者の状況に応じて、職員も同行し、状態を報告・相談をしています。訪問歯科も往診があり、必要な利用者は利用しています。</p>	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	・現在は訪問看護を必要とする方はおりませんが、必要時はかかりつけ医を通して訪問看護師をお願いし、定期的、必要に応じて対応していただいています。（相談、電話指示等）		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	・入院時にはADL表を持参し、ホームでの生活の様子を詳しく伝えていきます。 ・退院時には病院からのサマリーをいただいています。 ・医師からご家族への説明の場に同席し、入院時からの様子、退院後の生活の注意事項を聞かせていただいています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	・主治医に相談し、ホームで出来ること、出来ないことを打ち合わせしています。 ・利用者、ご家族の意向にそえるよう介護計画作成時に打ち合わせを重ねています。	日頃から本人・家族の意向の把握に努め、終末期を迎えた場合の対応としては、ご家族、主治医、職員の三者の話し合いを持ち、ホームで出来ること、出来ないことを打ち合わせし、利用者、ご家族の意向に沿えるよう介護計画作成時にも打ち合わせを行い、方針の共有に努めています。ターミナル実施の場合には看取りの文書を作成し、協力して実施するよう努めています。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	・日中、夜間時の対応マニュアルを各フロアにおいてあります。介護計画書に急変や事故時の対応、連絡先を記載しています。 ・消防署の方に急変や事故時の対応、応急処理の指導をいただいています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	・年2回の防災訓練をしています。日勤帯、夜勤帯を設定して行っています。地域の防災訓練にも出来る限り参加しています。 ・ご家族と一緒に、さんまの会、バザー開催時にお釜を使い炊き出しをする機会を作り備えています。	年2回、消防署の指導のケースも含めて、実際の手順に従って防災訓練・避難訓練を行っています。日勤帯、夜勤帯を設定して行っています。また、地域の防災訓練に参加し、その折にホームの状況を把握して頂いています。スプリンクラーを取り付け、災害に考慮し、備蓄倉庫も設置し、防災用品や衛生用品など日常生活用品を備蓄し、環境整備に努めています。ご家族と一緒に、さんまの会、バザー開催時にお釜を使い、炊き出しをする機会を作り、災害時に備えています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・フロア会議で接遇について話し合ったり、目標にかかげたりし意識を高めています。 ・入居期間が長くなり気づかぬうちに人格やプライバシーを損ねる言葉がけをしていないか気をつけるよう心がけています 	<p>テーマを掲げながら研修を実施し、フロア会議で接遇について話し合ったり、目標に掲げる等、意識を高めています。利用者の入居期間に比例して新密度が増し、馴れ馴れしさが上回らないよう、本人への人格やプライバシーを損ねる言葉がけに留意しています。</p>	今後の継続
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアプラン時に利用者、ご家族に出かけたいところ、したいこと等、希望をお聞きしています。また、日常の会話の中から利用者の思いや希望をすい上げるよう、心がけています。 		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・起床時、声かけして起きられない時は様子を見ながら対応しています。 ・窓辺に置かれた椅子に座り過ぎされたり、お花に水やりをやられたり思い思いの時間を過ごしていただいています。 ・アクティビティは声かけはしますが、利用者の思いを大切にしています。 		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・2ヶ月に一度ボランティアの訪問カットやハンドマッサージがあります。髪型は利用者、ご家族に希望を伺いカットをしています。 ・夏祭りには各々浴衣を着られ楽しまれています。 		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の嗜好に合わせメニューを変えたり食べやすい大きさにしています。 ・食事前後のテーブル拭き、お盆拭きをいただいています。 ・お彼岸にはぼた餅・おはぎを作り、皆で楽しみながら召し上がっていただいています。 	<p>1階・2階それぞれの職員が3ヶ月交替で1か月分のメニューを利用者の嗜好に合わせて作成しています。食材は、生協・八百屋・魚屋、米は福島の農家に発注しています。誕生日には本人の食べたい物を聞き、外食したり、お寿司や刺身を出前したりしています。食事前後のテーブル拭き、お盆拭きなどのお手伝いをして頂いています。お彼岸には、ぼた餅・おはぎを作り、皆で楽しみながら食べています。</p>	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> 水分チェック表を作り摂取量をその都度記録しています。少なめな方にはタイミングを見計らって声かけし水分補給に努めています。 好きな飲み物、冷たい・温かい飲み物を伺っています。むせ込まれる方にはトロミをつけて飲んでいただいています。 		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<ul style="list-style-type: none"> 毎食後、口腔ケアに努めています。 月2回歯科定期健診を行い、その都度医師より指示をいただいています。 義歯の方は、夜間洗浄しホームでお預かりしています。 		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	<ul style="list-style-type: none"> 排泄パターンを把握してタイミングをみて、トイレ誘導を心がけています。特に、食後ポータブルトイレに座っていただくことで気持ちよく排泄できるよう支援しています。 	排泄チェック表により排泄パターンを把握し、利用者の生活リズムに合った声かけに努め、表情や仕草など一人ひとりのサインを見逃さないよう誘導することを心がけています。可能な限り、トイレにお連れするよう努め、特に、食後はポータブルトイレに座って頂くことで気持ちよく排泄できるよう支援しています。便秘にも気をつけ、職員は排便が3～4日以上無い場合には下剤を含めた対応をするよう心がけています。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> 毎朝の乳酸飲料、食物繊維が多い食材、低残渣食などを心がけ、食事から摂取していただくことを目指しています。 毎朝の体操等、体を動かす機会を作っています。 		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> 入浴の準備が出来る方はしていただき、声かけをして入浴をしていただいています。 菖蒲湯、柚子湯、入浴剤などで季節感、気分転換を心がけています。 	入浴は利用者のその日の体調や希望を考慮しながら、入浴の準備が出来る方はしてもらい、声かけをして入浴を支援しています。基本的には週に3～4回の入浴ですが、夏場はシャワー浴を含め、毎日入る方も居ます。菖蒲湯、柚子湯、入浴剤などで季節感、気分転換を心がけています。車椅子の方はリフト入浴の支援もあり、職員の見守りで一人で入浴を楽しまれる方もいます。風呂場にはリフト、床暖房、エアコン、乾燥機などが完備されています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・安心していただけるよう居室の照明、室温、湿度を配慮しています。 ・気持ちよく過ごしていただけるよう整理整頓に気をつけています。 		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・受診時は「受診記録」を書き、処方された薬についても記入しています。職員は必ず目を通し、共通認識を持って支援することに努めています。 		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりコミュニケーションをとりながら、どのような事を好まれるかを考え、利用者にあった楽しみを提供するよう心がけています。（例えば、洗濯物をたたんでいただいたり、クロスワードパズルを楽しまれたり等々） 		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・天気、気温を見ながら少しの時間でも裏の畑や散歩、日光浴やドライブを楽しんでいただいています。 ・お墓参りを希望されたご利用者がいらっしゃり職員が同行し希望を叶えています。 ・初詣、駅伝応援等、季節の行事に出かけています。 	<p>天気、気温、体調を見ながら少しの時間でも裏の畑や散歩、日光浴やドライブを楽しんでもらっています。近場ではホテルの里・川上公園・ホームセンター・コンビニへの買い物に行き、遠出はゾーラシア・八景島シーパラダイス・山下公園などへも出かけています。お墓参りを希望された利用者には職員が同行し、希望を叶えたケースもあります。初詣、駅伝応援等、季節の行事に出かけています。</p>	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・バザーで欲しい物を探しながら、買い物をされました。 ・職員と一緒に外出され、洋服、小物等欲しい物を買いました。 ・受診の帰り道、好物のおやつを買われたりしています。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回手作りの年賀状、書中お見舞いのハガキを作り郵送しています。 ・利用者で携帯電話を使用されている方もいらっしゃいます。 ・希望で電話をかけたり、定期的にご家族からの電話を楽しみにされている利用者もおります。 	/	
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・廊下やリビングには外出時に撮った写真や行事の写真を飾っています。 ・月2回のフラワーアレンジの作品を飾り季節感を楽しんでいただいています。 	リビングやトイレに大きな空気清浄器を設置し、温湿度調整にも配慮し、快適な環境を整備しています。月2回、花屋に依頼し、生花で利用者と一緒にフラワーアレンジメントを行い、リビングに飾っています。季節の花を用いて四季折々に季節感を感じられる取り組みを行っています。また、利用者が思い思いの場所で寛げるようソファをそれぞれ配置し、畳の部屋も利用でき、個々に居心地良く過ごせるように配慮しています。	今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・和室のソファでゆっくりとTVを見られたり、横になられたりしています。 ・天気の良い日は日のあたる場所へ移動されたり、ベランダに出て日光浴を楽しまれています。 ・リビングで得意のクロスワード、ナンプレをされている利用者がございます。 	/	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・馴染みのある品を置いていただき、使い慣れた家具などを引き続き使っていただいています。 ・居室内の配置は利用者ご家族、職員と一緒に考え納得していただけるよう努めています。 	居室は、エアコン・クローゼット・ベッドがホームの備付になっています。本人の馴染みのある品を配置し、写真・人形・タンスなどで居心地良く暮らせる空間になるよう工夫しています。居室内は、利用者ご家族、職員と一緒に考えて、本人が心地良く生活できるよう努めています。	今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<ul style="list-style-type: none"> ・フロア、廊下、トイレ内の手すりを利用してゆっくりと歩いています。 ・杖を利用している利用者専用の椅子や「杖いれ」を作り使いやすいう心がけています。 ・トイレ、居室が分かりやすいよう大き目の字で書いています。 	/	

目 標 達 成 計 画

事業所

梨雲ハウス平戸（豊水）

作成日

平成27年2月25日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	27	職員の勤務形態が様々なので入居者の変化等に対して、情報の共有が難しい。	入居者の記録及び情報の共有を通し、より安全・安心な介護を目指す。	入居者の変化、介護の対応等変更があった時は記録とその把握に努める。日誌等による情報をその日のスタッフで確認しあう。	3ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。

事業所名	梨雲ハウス平戸
ユニット名	幸 水

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	・ヘルパールーム、事務所に理念を掲示し理解、共有し、実践に努めています。 新たな環境の中で、少しでも豊かな共同生活を過ごしていただけるよう努めています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	・獅子舞、梨狩り、さんまの会、夏祭り、バザー等を通じて地域住民の方々との交流に努めています。 ・町内会の夏祭り等の参加を通し、地域との連携を探っています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	・近隣の方々への行事への参加を呼びかけています。(夏祭り・さんまの会・バザー) ・地域の老人会の方々がボランティアとして歌や折り紙やマジックで共に楽しむ場を通して認知症の理解に努めています。 ・地域中学校(2校)の体験学習の場として提供しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・年6回の開催に努めました。 ・多数のご家族にご参加いただいています。いろいろな気づき、希望、感想を直接伺える時間としていかしています。 ・ご家族間が馴染みの関係になり、今まで以上に一体感ができています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	・単身の生活保護受給者には区役所の担当者と相談しながら協力関係を築くよう努めています。 ・地域包括センター等での集まりに参加しサービスの情報交換に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・「身体拘束をしないケア」の実践に努めています。 ・危険防止、防犯、無断外出等を考え止むを得ず、玄関に施錠をしています。職員は常に鍵を携帯しご利用者が不自由な思いをしないよう心がけています。 		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の会議などを通して拘束や虐待の認識の擦り合わせをしています。 ・態度、言葉遣いについても職員間で話し合うことを心がけています。 ・排泄、入浴、清拭、薬の塗布などの際、変化(傷、痣)がないかを観察するようにしています。 		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見人制度(ご家族・司法書士・弁護士)を活用されているご利用者がいらっしゃいます。 ・個々の必要性を把握し、話し合いを持つように努めています。 		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<ul style="list-style-type: none"> ・契約前、契約時に重要事項説明書及び契約書を説明し、ホームでの生活を理解していただくよう努めています。 ・入居年数が長くなり体調変化、重度化に伴う不安や負担について個々の様子に見合った対応を心がけています。 		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に外部・内部の苦情相談窓口について説明しています。また、連絡先を見やすいところに掲げています。 ・運営推進会議、行事、面会時、ケアプラン面談時等々の中でお互いの意識の擦り合わせをし、活かすことに努めています。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<ul style="list-style-type: none"> ・申送り、朝礼、会議等あるいは個別に意見や要望、提案を出していただく機会を作っています。気軽・気楽に意見が言い合えるような雰囲気作りに努めています。 ・代表者、管理者、主任からの声かけを心かけています。 ・各フロアに「意見箱」を設置しています。 		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・職員のライフスタイルを重視し（環境・日数・時間数・時間帯）安心して働けるような職場環境づくりに努めています。 ・突発的な事情による遅刻・早退、欠勤、休職に柔軟に対応するよう心がけています。 		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<ul style="list-style-type: none"> ・「梨の実塾」を年5回ほど開催しています。技術、知識、意識の向上に努めています。 		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の他事業所の行事に参加し代表者・管理者・職員・ご利用者との交流に努めお互いのサービスの向上につながるよう努めています。 		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・事前面談時の聞き取りの際、今までの生活様式・環境・状況を把握することに努めています。 ・安全面に配慮しながら出来る限り、利用者の要望を受け入れるよう心がけています。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・面談時に不安や悩み、希望を聞き取り、ご家族の意向を把握し、話し合う時間を大切にしています。 ・ご家族が気軽・気楽にお話をいただけるような雰囲気作り、対応を心がけています。 		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・入居前後よりご家族との意見の擦り合わせを重ねています。少しでも安心してもらえるような対応に努めています。 ・希望による訪問リハビリ・訪問歯科等、ご要望に添った対応を心がけています。 		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<ul style="list-style-type: none"> ・出来ること、やりたいことを見極めながら一緒に生活できるよう支援しています。（食事・おやつ作り・配膳下膳・洗濯干しゴミだし等々） ・一緒に喜怒哀楽を共有し、共に暮らす関係を築いています。 		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	<ul style="list-style-type: none"> ・ご都合の良い時間に面会していただいています。（散歩・コンサート・お墓参り・お食事等々） ・外泊、外出、食事を楽しまれています。 ・ご家族の実現したいことを受け止め、ホームとして協力できることを話し合い、双方の良好な関係作りを努めています。 		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族、親戚、知人との面会時間を気軽に楽しんでいただけるよう努めています。 ・ご家族との日帰り温泉旅行、宝塚観劇おしゃべりをしながら好物を食べたり等々お好きな場所、趣味などを楽しんでいただけるよう努めています。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いの関係性の把握に努めています。職員の見守り・関わることで良好な関係性を築き上げられるよう努めています。 ・関わることで苦手なことも心地よく過ごしていただけるような対応に努めています。 		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・「ひよどりの会」に入会していただき、継続した関わり場を作っています。（行事へのお手伝い・参加、勉強会のお誘い、新年会等々） 		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの思いや希望の把握に努めています。言葉で表現されない方には、日頃の様子をみて時間をかけ、職員と話し合いながらご利用者の気持ちにより添えるよう努めています。 ・ケアプラン面談時にご本人、ご家族との会話を大切にしています。 		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの生活環境、仕事、趣味、家族関係を伺い、ホームでの生活に取り入れるよう努めています。 ・お誕生日会で出身地、名物等々ふるさとの事をお話していただいています。 		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・各フロアの申し送りや朝礼などで、一人ひとりの心身の状態を共有し、各々の食事、睡眠、排泄等生活リズムを把握することに努めています。 ・変化の著しい方には「行動表」を作成し現状の把握に努めています。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<ul style="list-style-type: none"> ・入居前、アセスメント表（5枚セット）に記入していただき、これまでの生活の様子等を把握することに努め、グループホームでの生活に活かすよう努めています。 ・利用者、ご家族との面談の中でそれぞれの思いをくみ取り介護計画をたてるよう努めています。 		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・介護日誌、ケース記録に日々の様子、変化、気づきを記録しています。 ・介護計画にそって実践されているか、また、現状に合っているのかを確認、職員がそれを共有し合うことに努めています。 		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルパー事業所や特養のご案内、理学療法士のご紹介等、ご家族の希望に柔軟に対応するよう心がけています。 		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームの行事を通じてご近所の方々と馴染みの関係をつくり、お互い安心・安全な暮らしを楽しみたいと考えています。 ・地域のサークル、ボランティアの方々に訪問していただき、交流の中で皆が楽しめるように心がけています。 		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人、ご家族の希望にそって、かかりつけ医を決めています。定期的に受診・往診をしています。 ・急変、緊急時にはかかりつけ医の指示を仰ぎ対応に努めています。 ・かかりつけ医との良好な関係作りに努めています。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> 日々の様子や気づきをかかりつけ医、訪問看護師に伝えています。個々に見合った受診、往診、訪問看護を受けていただけるよう支援しています。 状況に応じて「行動表」を作成し、かかりつけ医、訪問看護師、ご家族にお伝えしています。 		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<ul style="list-style-type: none"> 入院時、職員が説明、ADL表を提出し生活面の様子をお伝えしています。 入院時、詳細な情報を伝えています。また、退院に向けて医師、看護師と前もって今後について話し合う時間をいただいています。 		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> 面談時、ご本人、ご家族の意向を伺い、その旨をかかりつけ医に伝えています。 状況によってご家族、かかりつけ医、ホームの三者の話し合いを持ち、支援方針の決定に努めています。 		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<ul style="list-style-type: none"> 日中・夜間の急変、事故時のマニュアルを各フロアに置いてあります。また、介護計画書に利用者の対応、連絡先を記載しています。 消防署の方から緊急時の対応、応急処置の指導を受けています。 		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練を行い、災害時の対応を身につけることに努めています。 備蓄倉庫を設置しています。防災用品、道具の充実に努めています。 ご家族にいろいろな形での協力を定期的にお願ひしています。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの人格やプライバシーについて考え意識の向上に努めています。 入居期間が長くなり知らず知らずのうちに人格の尊重、プライバシーを損ねる言葉がけをしていないか等々話し合っています。 		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	<ul style="list-style-type: none"> 選択肢を用意し、自己決定の機会をつくるよう心がけています。 行事の参加、衣類の選択、過ごし方等々ご利用者の様子や意思を大切にしています。 自己決定の困難な方には表情やしぐさから思いをくみ取ることに努めています。 		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<ul style="list-style-type: none"> 健康、衛生、栄養面を考えながらもアクティビティ、入浴、食事等、その日の様子を見て、利用者の思いを大切にすることを心がけています。 利用者の状況に合わせて柔軟に対応できるよう努めています。 		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> 衣替えを一緒にしています。季節に応じたおしゃれを楽しんでもらいたいです。 美容師さんに利用者の希望を伝え、お気に入りの髪型にさせていただいています。 定期的にハンドマッサージのお手入れをさせていただいています。 		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	<ul style="list-style-type: none"> 畑で収穫された食材（なす、ゴーヤ、ふきのとう、たらの芽、ジャガイモ等々）を調理して召し上がっていただいています。 お気に入りの食器で食事を楽しんでいただいています。 食事の下ごしらえ、盛り付け等のお手伝いをさせていただいています。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・食分量、水分量を記録しています。 ・水分摂取の少ない方には好きな飲み物を用意するなど工夫をして摂っていただいています。 ・状態をみてきざみ、ミキサー、トロミをつけ、盛り付け分量などで調整しています。 		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<ul style="list-style-type: none"> ・月2回の口腔ケアの検診をしています。 ・食後、利用者の様子を見ながら口腔ケアに努めています。 ・夕食後、義歯はワーカールームにて消毒し保管しています。 		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄パターンを把握し、排泄のサインを見逃さないよう心がけています。 ・立位のとれる方には、出来るだけオムツを使わない生活を心がけています。 		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・胃腸に負担のかからない食事を心がけるようにしています。 ・乳酸飲料、繊維食品等食材の工夫を心がけています。 ・毎日のアクティビティ、(体操・散歩等)で適度な運動をするよう努めています。 		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・季節に合った入浴を楽しんでいただいています。(菖蒲湯、ゆず湯、みかん湯等々) ・利用者の体調を考え、希望、タイミングを見て安心して入浴していただけるよう工夫をしています。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の希望、様子を考え、安心していただける環境づくりに努めています。(居室の照明・温度・湿度・音等) ・一人の時間を大切にされる方、安心して気持ちよく休んでいただけるよう整理整頓などを心がけています。 		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの薬の説明書をつけた配薬表を作り、理解、周知に努めています。 ・服薬の変更時には、指示、掲示などで周知に努め、症状の変化の確認等を心がけています。 		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりのお誕生日会をひらいています。 ・興味のあるアクティビティに参加していただいています。(お茶会、マジックショー、クラブト) ・お掃除、洗濯干し、ゴミだし等、役割を持つていただけるよう支援しています。 		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・皆さんの様子を見ながら、お買い物、散歩、ドライブを楽しんでいただいています。 ・ご家族と記念日や歳時等それぞれの希望にそえるよう努めています。 ・外出(宝塚観劇・サーカス・コンサート)を楽しみました。 		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・一緒にお買い物に出かけ、希望の品物を購入しています。 ・夏祭り、バザー、近隣のバザー等でお買い物を楽しみました。 ・利用者のご家族の希望でお財布を所持されている方がいらっしゃいます。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・暑中お見舞い、年賀状など季節にあったハガキを送っています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・月2回のフラワーアレンジで季節の花を楽しんでいただける工夫をしています。 ・面会者（ご家族・知人等）にとって心地よい空間をつくるよう努めています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・ソファが置かれている和室で気ままにテレビなどを見られています。 ・思い思い、安心して動いていただけるような共用空間を作る工夫をしています。 ・廊下に長椅子を置いてあります。座って一人の時間を大切にしています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・使い慣れた物品を置いていただいています。 ・居室内の家具などの配置はご家族、職員と相談しながら進めています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・トイレ、居室がわかるように大きめの字で書き、分かりやすいようにしています。 出来るだけご自分でトイレ・居室の行き来が出来るように工夫しています。		

目 標 達 成 計 画

事業所

梨雲ハウス平戸（幸水）

作成日

平成27年2月25日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	25	入居されて長い方も多く身体の様子に変化してきている。	状態変化の早期発見、早期対応に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・着替え、入浴、薬の塗布時に身体の確認をする。 ・申し送りの充実（伝達・確認・実施） ・気づきがあった時は、その日のスタッフ、主任、管理者に報告し、その後の対応について迅速な決定に努める。 	12ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。